

第7回「家庭の日」の作品を

募集します

テーマは 家族

青少年育成大山町民会議では、毎月第3日曜日を「家庭の日」として、家族がそろって過ごすことを提唱しており、この取り組みの普及を図るため「家庭の日」作品コンクールを行っています。

「家族」が表現された出来事や風景を絵画やポスター、写真にして応募してください。

募集作品

絵画・ポスター・写真

※ポスターの応募は、中学生に限ります



応募資格

町内にお住まいの方、及び町内事業所などにお勤めの方

部門

- A 小学生 下学年の部 (1～3年生)
- B 小学生 上学年の部 (4～6年生)
- C 中学生の部
- D 一般の部 (おおむね16歳以上)

応募期間

8月23日(火)～9月9日(金)

表彰

作品、部門ごとに 最優秀作品1名、優秀賞1名、優良賞2名を表彰(表彰者には賞状と副賞を贈呈)

その他

- ・応募に関する詳細は、人権・社会教育課生涯学習室または中山・名和・大山の各公民館においてある募集要項をご覧ください。
- ・応募された方全員に参加賞があります。

◆問い合わせ先 人権・社会教育課生涯学習室内
 青少年育成大山町民会議事務局
 ☎0859-54-5212

第1回 大山学講座

「大山開山二二〇〇年の 足跡と食の探訪」

歴史と食をテーマにして、今年度の第1回大山学講座を、5月28日に大山寺周辺で行いました。

前半は、大山自然観察会指導員 清水豪賢さんに大山寺本堂から大神山神社奥宮・下山神社を案内していただき、寺と神社の成り立ちと変容についてお話を聞きました。

後半は、寂静山地区の僧坊跡を訪ね、教育委員会文化財室 西尾秀道室長から、発掘調査から見えてきた当時の様子や国の史跡指定に向けた動きと、4月25日に認定された日本遺産「地藏信仰が育んだ日本最大の大山牛馬市」のストーリーや苦勞話を聞きました。

また、大山寺支院の一つ観証院(山楽荘)で、大山に伝えられてきた精進料理の話を聞きながら、春の山菜精進料理をいただきました。

日本遺産認定を受け、若い方の参加もありました。新緑の大山を楽しみ、歴史と食を堪能することができました。



▲大神山神社奥宮神門で